

## 公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月8日

団体名 おかざき九条の会

代表者 荒川和美

構成員 12人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

恒久平和主義を定めた「第九条」を中心に、日本国憲法の理解を深めることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
5/18	せきれいホール	市民(講演会参加者)	210人	名古屋大学名誉教授・池内了講演会
5/24	渥美半島	市民(参加者)	5人	渥美半島戦跡巡り
11/15	せきれいホール	市民(参加者)	170人	「豹変と沈黙」上映会

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。&lt;ex.自然環境&gt;

## ■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

防衛費のかつてない大幅増額が始まっているが、軍事力での抑止一辺倒ではなく、憲法9条を持つ日本が外交に力を入れ平和を維持していく道も、市民の方々に考えていただく機会がもてた。戦後80年企画として、日中戦争に従軍した兵士4人の日記を紹介したドキュメンタリー映画を上映。この映画から、日本軍の加害の事実を目を向けることの必要を知る機会となった。

## ■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

講演会・映画とも参加者に好評であった。様々な情報が飛び交うなかで何を選んでいくか良く見極めることが大切だという認識が参加者に共有された。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。